

蛍流の森 だより

ロックエンゼルの会

代表 長坂 健司

第 105 号

令和元年 8 月 15 日

夏本番 猛暑の中の蛍流の森

7 月末ごろから急激な暑さになっていて、最高気温が 35 度を超える猛暑日が続いています。それでも蛍流の森ではホタルの里の鹿威しが鳴り、静けさを醸し出しています。蛍流公園は 7 月下旬に芝が刈られすっかりきれいになり、夕方、蝸の低い声が聞こえる中、芝の上を赤とんぼが悠々と飛んでいました。



芝が刈られ、夏の日差しを浴び、気持ちの良い蛍流公園



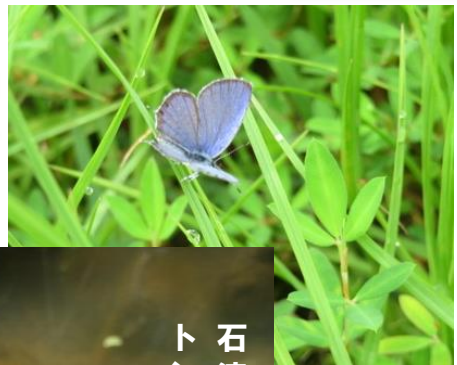
今朝、ホトトギスの声で目が覚めます。「トッキョキョカキョク」と聞こえるでしょうか。六月〜八月にかけて聞いている人が多いと思います。当地で繁殖をしています。といっても、ウグイスの巣に卵を産み落とし、育児もしてもらいます。ハトか小型のタカぐらいあります。ウグイスの親は気づかずに子育てをしています。

身近な生き物 (三七) ホトトギス



ジマ順調に成長しているが、水不足に立ち枯れが心配。

蛍流公園の芝刈り前にいたヤマトシジミ



石清水池にあったトンボの抜け殻